

2026 年度 授業計画(シラバス)

| 学 科 | 柔道整復師学科 | | 科 目 区 分 | 専門基礎分野 | 授業の方法 | 講義 |
|---|-------------|-----------------|---------------------------------------|-------------|-----------------------|---------------|
| 科 目 名 | リハビリテーション医学 | | 必修/選択の別 | 必修 | 授業時数(単位数) | 30 (2) 時間(単位) |
| 対 象 学 年 | 3年生 | | 学期及び曜時限 | 前期 | 教室名 | 第2校舎203 |
| 担 当 教 員 | 粕淵 賢志 | 実務経験と その関連資格 | | | | |
| 《授業科目における学習内容》 | | | | | | |
| リハビリテーションの概念や障害の階層性、各機能障害の病態や評価法、治療法などについての基礎を学び、リハビリテーションの全体像と展開を構造的に学習する。 | | | | | | |
| 《成績評価の方法と基準》 | | | | | | |
| 期末試験にて記述試験を行う。 | | | | | | |
| 《使用教材(教科書)及び参考図書》 | | | | | | |
| 『リハビリテーション医学 改訂第4版』/全国柔道整復学校協会監修/南江堂 | | | | | | |
| 《授業外における学習方法》 | | | | | | |
| 次回の授業内容を告知するため、事前に教科書内容の確認をとること。 | | | | | | |
| 《履修に当たっての留意点》 | | | | | | |
| 受講にあたって予習、復習を十分に行うこと。 | | | | | | |
| 授業の 方法 | 内 容 | | | 使用教材 | 授業以外での準備学習 の具体的な内容 | |
| 第1回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | リハビリテーションの理念や対象を理解する | 教科書 配布資料 | 教科書および配布資料 の予習、復習 | |
| | | 各コマにおける授業予定 | リハビリテーションの理念と対象 | | | |
| 第2回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | ICIDHやICFの障害モデルを理解する | 教科書 配布資料 | 教科書および配布資料 の予習、復習 | |
| | | 各コマにおける授業予定 | 障害の階層とアプローチ | | | |
| 第3回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 関節拘縮、変形、筋委縮、神経麻痺の病態を理解する | 教科書 配布資料 | 教科書および配布資料 の予習、復習 | |
| | | 各コマにおける授業予定 | リハビリテーション障害学(関節拘縮、変形、筋委縮、神経麻痺) | | | |
| 第4回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 痙縮、摂食嚥下障害、高次脳機能障害、廃用症候群の病態を理解する | 教科書 配布資料 | 教科書および配布資料 の予習、復習 | |
| | | 各コマにおける授業予定 | リハビリテーション障害学(痙縮、摂食嚥下障害、高次脳機能障害、廃用症候群) | | | |
| 第5回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 障害の評価を理解する 身体計測、関節可動域の評価を理解する | 教科書 配布資料 | 教科書および配布資料 の予習、復習 | |
| | | 各コマにおける授業予定 | リハビリテーション評価学(障害の評価、身体計測、関節可動域) | | | |

| 授業の方法 | | 内 容 | | 使用教材 | 授業以外での準備学習 の具体的な内容 |
|-------|--------|-------------|--|-------------|-----------------------|
| 第6回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 筋力、意識状態、バイタルサイン、認知症の評価を理解する | 教科書 配布資料 | 教科書および配布資料の予習、復習 |
| | | 各コマにおける授業予定 | リハビリテーション評価学(筋力、意識状態、バイタルサイン、認知症) | | |
| 第7回 | 講義実習形式 | 授業を通じての到達目標 | 小児運動発達、ADL、QOLの評価を理解する | 教科書 配布資料 | 教科書および配布資料の予習、復習 |
| | | 各コマにおける授業予定 | リハビリテーション評価学(小児運動発達、ADL、QOL) | | |
| 第8回 | 講義実習形式 | 授業を通じての到達目標 | 運動麻痺、筋緊張、反射の評価を理解する | 教科書 配布資料 | 教科書および配布資料の予習、復習 |
| | | 各コマにおける授業予定 | リハビリテーション評価学(運動麻痺、筋緊張、反射) | | |
| 第9回 | 講義実習形式 | 授業を通じての到達目標 | 感覚、運動失調、画像の評価を理解する | 教科書 配布資料 | 教科書および配布資料の予習、復習 |
| | | 各コマにおける授業予定 | リハビリテーション評価学(感覚、運動失調、画像) | | |
| 第10回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 障害受容、関節可動域制限に対するアプローチを理解する | 教科書 配布資料 | 教科書および配布資料の予習、復習 |
| | | 各コマにおける授業予定 | リハビリテーション治療学(障害受容、関節可動域練習) | | |
| 第11回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 筋力強化、バイオフィードバックのアプローチを理解する | 教科書 配布資料 | 教科書および配布資料の予習、復習 |
| | | 各コマにおける授業予定 | リハビリテーション治療学(筋力強化、バイオフィードバック) | | |
| 第12回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 歩行練習、全身運動のアプローチや、リハビリテーション治療におけるリスク管理を理解する | 教科書 配布資料 | 教科書および配布資料の予習、復習 |
| | | 各コマにおける授業予定 | リハビリテーション治療学(歩行練習、全身運動、リスク管理) | | |
| 第13回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | チーム医療、作業療法、言語聴覚療法を理解する | 教科書 配布資料 | 教科書および配布資料の予習、復習 |
| | | 各コマにおける授業予定 | チーム医療、リハビリテーション治療技術(作業療法、言語聴覚療法) | | |
| 第14回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 理学療法(運動療法と物理療法)を理解する | 教科書 配布資料 | 教科書および配布資料の予習、復習 |
| | | 各コマにおける授業予定 | リハビリテーション治療技術(理学療法(運動療法と物理療法)) | | |
| 第15回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 義肢・装具を理解する | 教科書 配布資料 | 教科書および配布資料の予習、復習 |
| | | 各コマにおける授業予定 | リハビリテーション治療技術(義肢・装具) | | |